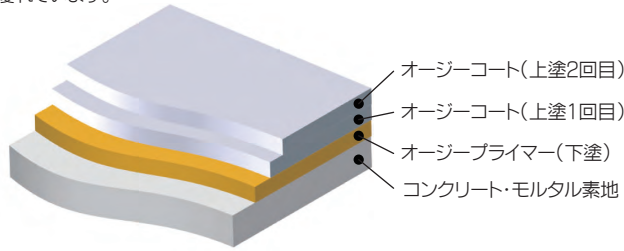
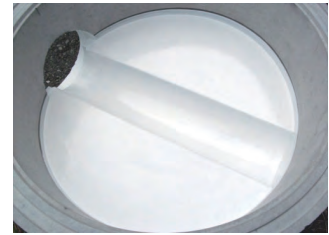


- 速乾性に極めて優れ、1日で2回塗装が可能です。
- 耐酸性及び耐久性に優れています。



## ◆オージーコート施工例

マンホールインバート部



小型マンホール内壁部

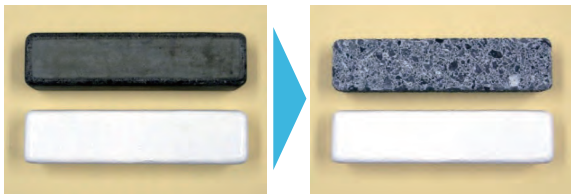


### ●塗膜物性

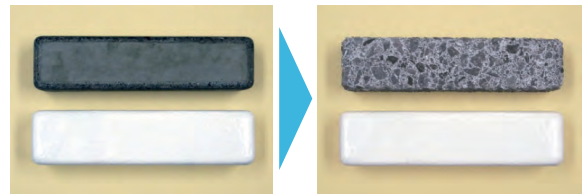
試験項目	試験結果	備考
光沢度	90	JIS K 5600-4-7
鉛筆引っかき値	3H	JIS K 5600-5-4
耐摩耗性	2.8mg	JIS K 5970 CS-17 4.9N 100回転
付着強さ	2.9N/mm <sup>2</sup>	建研式による(基材破壊)
耐水性	異常なし	水道水、30日間浸漬
耐アルカリ性	異常なし	5% NaOH、30日間浸漬
耐酸性	異常なし	5% HCl、7日間浸漬
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1

### ◆耐酸試験

硫酸5% 温度20℃ 期間7日間浸漬



硫酸10% 温度20℃ 期間7日間浸漬



オージーコートの耐酸性能を確認するため、以下の手順で耐酸性試験を行った。

- (1)オージーコートを塗布したコンクリートの供試体及び塗布していないコンクリートの供試体を常温で48時間保持し、供試体の質量を測定する。
- (2)供試体を各試験液の容器に密封して、試験液温度20℃で7日間浸漬後流水で洗浄し、表面を乾布で拭き取り質量を測定する。
- (3)質量変化率は、次式によって求める。

$$m = \frac{(M_2 - M_1)}{M_1} \times 100$$

ここに、 m：質量変化率(%)  
M<sub>1</sub>：試験液浸漬前の質量(g)  
M<sub>2</sub>：試験液浸漬後の質量(g)

### ●耐酸性試験結果

試験液	オージーコートを塗布したコンクリート		塗布していないコンクリート	
	質量変化率(%)	外観変化	質量変化率(%)	外観変化
硫酸(5%)	0	変化なし	-6.3	侵食大
硫酸(10%)	0	変化なし	-8.5	侵食大

(当社比)

### ◆荷姿



オージーコート主剤 12.8kg    オージーコート硬化剤 3.2kg    オージープライマー 4kg

### ●容量と塗装面積

	容量	塗装面積
オージーコート	16kgセット(主剤12.8kg:硬化剤3.2kg)	約100~110m <sup>2</sup> /回
オージープライマー	4kg	約50~55m <sup>2</sup> /回

※塗装面積は素地の状態により多少変動する事があります。

### ●可使時間、塗装間隔と養生時間

	10℃	20℃	30℃	35℃
可使時間	3時間	2時間	1時間	(2時間) (1時間)
塗装間隔	6時間	3時間	2時間	(3時間) (2時間)
養生時間	40時間	24時間	16時間	(16時間) (12時間)

( )は夏型

### ◎施工上の注意

- ・気温30℃以上の時は夏型硬化剤をご使用下さい。
- ・使用時の気温によって混合後の可使時間が変わりますのでご注意ください。
- ・同一面では休まず一気に仕上げて下さい。休んだり、塗り継ぎ時間が空すぎたりしますと色の差や段差が出来やすくなりますのでご注意ください。
- ・施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
- ・主剤と硬化剤の混合は必ず電動ミキサーで行って下さい。
- ・シンナーは指定のものを使用して下さい。
- ・気温5℃以下や、相対湿度80%以上の施工は避けて下さい。高湿度時に塗装すると仕上がり面の光沢が低下することがあります。
- ・施工中、養生期間中は換気を十分に行い、火気厳禁として下さい。
- ・エポキシ樹脂は、黄変しますのでご注意ください。
- ・規定の塗装間隔を超えた場合は、層間の密着不良を引起す恐れがありますので、入念にサンディングしてから次工程に移って下さい。
- ・湿潤状態及び古く荒れたコンクリート表面に施工する場合は、専用のプライマーが必要です。